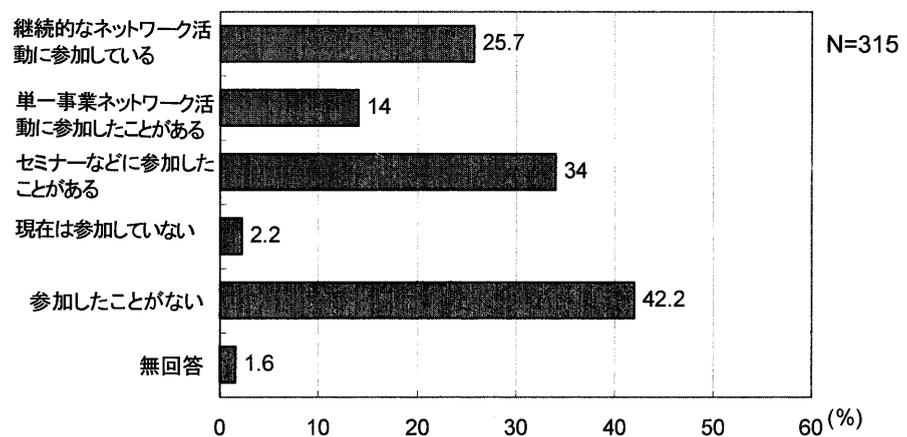


1. 公立ホールのネットワーク活動への参加状況

(1) 参加しているホール

- アンケート調査は、先述のとおり 478 の公立ホールを対象に実施し、315 ホールからの回答を得た(回収率 65.9%)。うち、「継続的ネットワーク活動へ参加している」または「単一事業のネットワーク活動を実施したことがある」と回答したホールは 109 件(39.7%)で、単一事業のみの参加が 29 ホール、継続的なネットワーク活動への参加もしくは継続的なネットワーク活動と単一事業のネットワーク活動双方への参加が 80 ホールとなっている。この 109 ホールから回答のあったネットワーク活動数は、継続的な活動が 118、単一事業が 47 で、総数 165 活動。
- このうち、具体的な活動内容について回答のあったものは 145 件であったが、この中には 13 ホールから回答のあった全国公立文化施設協会など重複している活動も含まれているため、重複回答分を除くと、90 件となる。
- また、公立ホールがネットワークを組んで主催するセミナー・研修・シンポジウム等への参加経験については、34.0%にあたる 107 館が「ある」と回答している。
- 逆に、全体の42.2%にあたる140のホールでは「現在ネットワークに参加していない」と回答しており、約4割のホールでは、関心の有無にかかわらずネットワーク活動への具体的な参加には至っていない。
- なお、ネットワーク活動に参加しているホールには、①比較的大都市に立地(人口 30 万人以上)している、②開館 5 年程度以内で比較的新しい、③ホールの座席数が多い、④職員数が比較的多いなどの特徴が見られる。

図表 I-1 ネットワーク活動への参加状況 (複数回答)

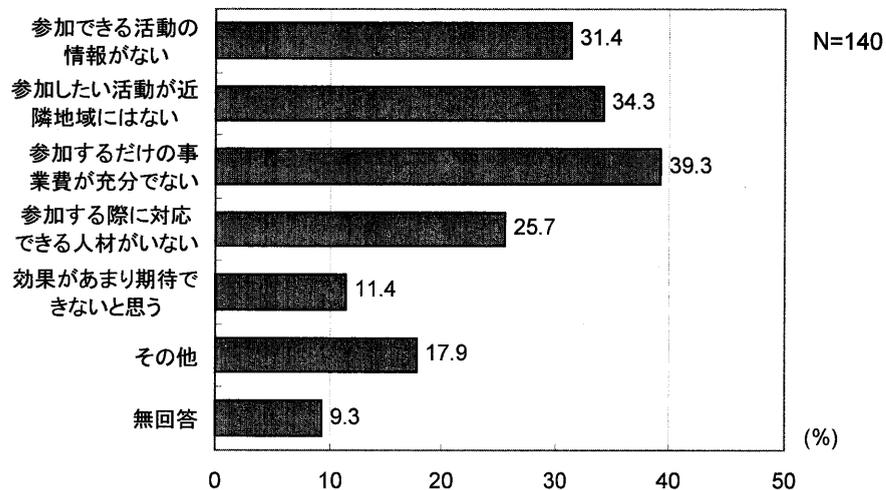


- 以下では、設問に応じて回答のあった 145 件あるいは実際の活動数 90 件を母数として分析を行う。

(2) 参加していないホール

- アンケート調査において「ネットワーク活動に参加していない」と回答のあった140館にその理由を聞いたところ、「ネットワークに参加するだけの事業費が充分でない」(39.3%)、「参加したいネットワーク活動が近隣地域では行われていない」(34.3%)、「参加できるネットワーク活動の情報がない」(31.4%)が上位を占めており、いずれのネットワーク活動そのものには関心があるものの、対応する体制の整備や情報収集が進んでいないという状況もうかがえる。

図表 I-2 ネットワーク活動へ参加していない理由（複数回答）



2. ネットワーク活動の概要

(1) 発足・加入時期

- アンケート調査で抽出された90事例のうち、41.1%にあたる37件が「平成3年～7年」、15.6%にあたる14件が「平成8年以降」に発足しており、半数以上が活動実績5年以内の比較的新しい活動となっている。
- ネットワーク活動の発足時期は、1980年代後半以降になって各地で公立ホール・劇場の建設ラッシュがあったことと無関係ではなく、ホール開館後に直面することとなった情報や企画ノウハウの必要性、コウトダウン、近隣ホール間での企画バッティングの防止など、新設ホールが抱える運営上の諸問題に対応する形で発生してきた活動であると言える。